

## 4. 市民意見の把握

### 4-1. 市民アンケート調査

#### (1) 調査の概要

##### ① 調査の目的

「交通バリアフリー基本構想」の策定にあたり、幅広く市民の意見ができるかぎり反映されたものとするため、市民アンケート調査を実施しました。

##### ② 調査方法

###### 1) 高齢者及び妊婦・乳幼児保護者

○郵送方式・・・定形封筒に調査票と返信用封筒を入れて発送。

○調査期間発送日・・・平成15年7月30日(水)～締切日：平成15年8月12日(火)

###### 2) 身体障害者等

身体障害者等については、平成15年7月27日(日)に市民福祉センターにおいて、直接ヒアリング形式にてアンケート調査を実施しました。

当日参加できなかった方には、障害者団体を通じて配布を行い、郵送方式で回収を行いました。

##### ③ 調査対象

○身体障害者等・・・障害者手帳を所持している方

○高齢者・・・貝塚市にお住まいの方(住民登録している方)で65歳以上の方。

※ただし、障害者手帳を所持している方は除く。

○妊婦・乳幼児保護者・・・平成15年4月1日現在で2歳以下の乳幼児をお持ちの保護者の方

(ベビーカーの対象年齢が約2歳までであることを考慮した)。

※ただし、障害者手帳を所持している方は除く。

##### ④ 回収率

###### 【発送数】

	発送数
身体障害者等	287票
高齢者	1,000票
妊婦・乳幼児保護者	200票
計	1,487票

###### 【回収率】

	票数等
発送数	1,487票
宛先不明	5票
発送数(有効)	1,482票
回答数(有効)	682票
回答率(%)	46.0%

## (2) 属性別集計

### ① 分析にあたり

分析にあたり、身体障害者等、高齢者と妊婦・乳幼児保護者の区分を次のように設定します。

区 分	設 問 項 目
身 体 障 害 者 等	○障害者手帳の所持で「はい」と答えられた方
高 齢 者	○障害者手帳の所持で「はい」と答えられた方以外の方 ○年齢で65歳以上と答えられた方
妊 婦 ・ 乳 幼 児 保 護 者	○性別で「女性」と答えられた方 ○上記の身体障害者等・高齢者に該当しない方

### ② 属性のまとめ

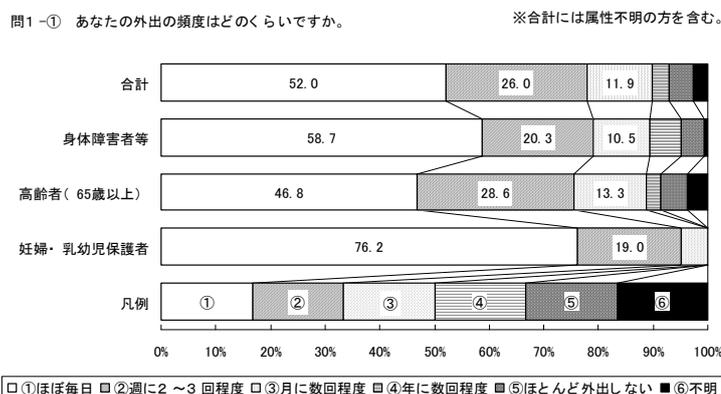
属性区分	まとめ
性別	○「男性」が40.6%、「女性」が58.1%。 ○『身体障害者等』は「男性」が、『高齢者(65歳以上)』は「女性」が半数以上となっています。
年齢	○「65～74歳」が48.9%と約半数を占めています。 ○『身体障害者等』は「65～74歳」が30.0%、「50～64歳」が21.0%、「75歳以上」が17.5%となっています。 ○『高齢者(65歳以上)』は、「65～74歳」が63.5%、「75歳以上」が36.5%となっています。 ○『妊婦・乳幼児保護者』は、「30～39歳」が61.9%、「20～29歳」が34.9%となっています。
障害者手帳 ・ 障害の部位	○「肢体不自由(車いす利用ではない)」が34.3%、「聴覚・平衡機能障害」が16.8%、「肢体不自由(車いす利用)」が14.0%、「知的障害」が13.3%、「視覚障害」が11.9%となっており、これら以外は10%未満となっています。
居住地	○各小学校区ともに概ね10%前後となっています。
妊婦 ・ ベビーカー	○妊娠している方は全体で2.0%、『妊婦・乳幼児保護者』で9.5%と低くなっています。 ○『妊婦・乳幼児保護者』のうち、ベビーカーが必要な子供の割合は約9割を占めています。

### (3) 設問別集計

#### ① 外出頻度

● 全般的にほとんどの人が一週に数回外出しています。

- 『身体障害者等』の約8割の人は、週に数回外出しています。
- 『高齢者（65歳以上）』の約8割の人は、週に数回外出しています。
- 『妊婦・乳幼児保護者』の約8割の人がほぼ毎日外出しています。

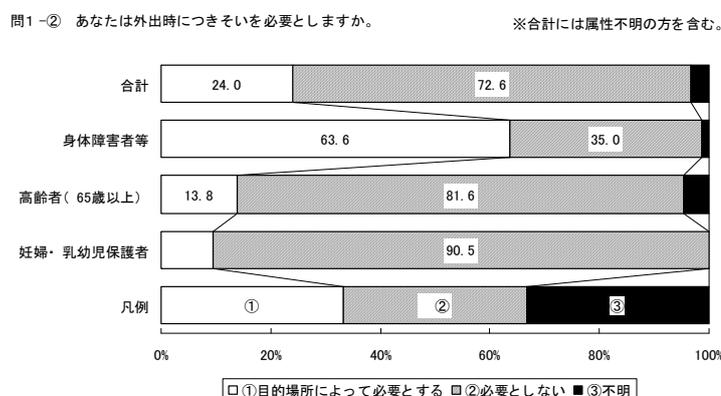


#### ② 外出時のつきそい

● 『身体障害者等』の多くの人は目的地によって外出時のつきそいを必要としています。また、『高齢者（65歳以上）』と『妊婦・乳幼児保護者』のほとんどの人が必要としていません。

- 『身体障害者等』の『肢体不自由（車いす利用）』『知的障害』『視覚障害』のほとんどの人が目的地によって外出時のつきそいを必要とし、これら以外の人でも半数以上の人が目的地によって外出時のつきそいを必要としています。
- 『高齢者（65歳以上）』のほとんどの人が外出時のつきそいを必要としていませんが、『75歳以上』の約2割の人は必要としています。
- 『妊婦・乳幼児保護者』

のほとんどの人が外出時のつきそいを必要としていませんが、『乳幼児保護者（妊娠している方）』の約3割の人は必要としています。



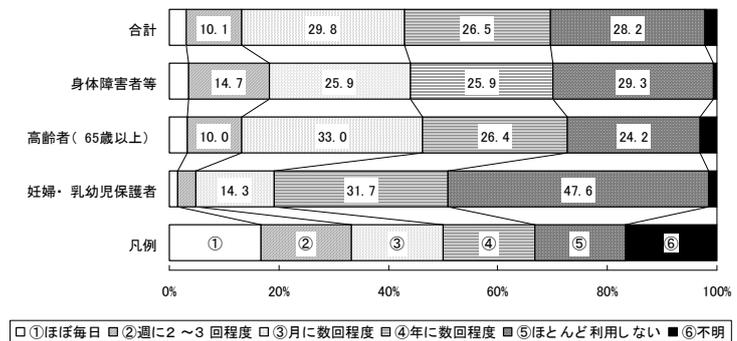
### ③ 貝塚駅の利用頻度

- 『身体障害者等』と『高齢者（65歳以上）』の半分ぐらいの人が月に数回以上貝塚駅を利用していますが、『妊婦・乳幼児保護者』の利用は少なくなっています。
- 利用しない理由は、一般的に移動の交通手段として自家用車などを利用することや貝塚駅に行くことがない、体調上外出ができないなどの理由が多くなっています。
- 『身体障害者等』の約4割強の人は貝塚駅を月数回以上利用しています。『身体障害者等』と回答された方の中で、『肢体不自由（車いす利用）』と答えた方の約5割弱の人はほとんど利用していません。

- 『高齢者（65歳以上）』の約4割強の人は貝塚駅をよく利用しています。
- 『妊婦・乳幼児保護者』の貝塚駅を利用する人は約2割にとどまっており、『乳幼児保護者（妊娠していない方）』の過半数近くの人がほとんど利用していません。

問2-① あなたは、貝塚駅をどのくらい利用しますか。

※合計には属性不明の方を含む。

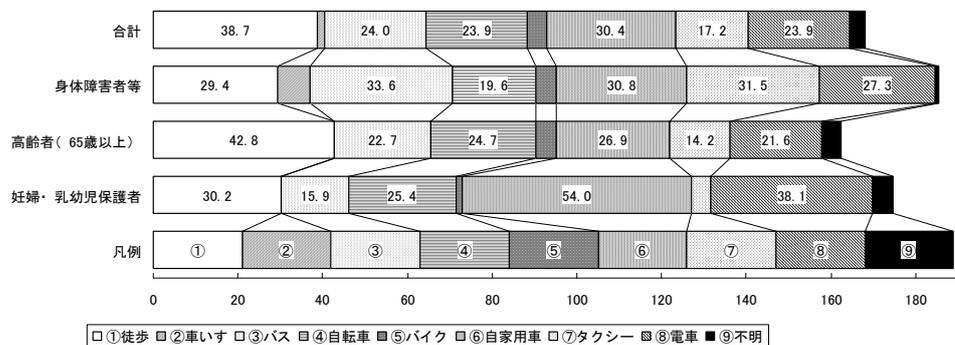


### ④ 移動手段

- 『身体障害者等』は公共交通機関等を利用する人が多く、また『高齢者（65歳以上）』と『妊婦・乳幼児保護者』は「徒歩」「自転車」「自家用車」「電車」を利用する人が多く、特に『妊婦・乳幼児保護者』は「自家用車」を利用する人が過半数以上います。
- 『身体障害者等』は「電車」や「バス」、「タクシー」などの公共交通機関等の利用が高くなっています。
- 『高齢者（65歳以上）』は「徒歩」「自転車」「自家用車」を利用する人の割合が高くなっています。
- 『妊婦・乳幼児保護者』は「自家用車」が過半数以上を占め、その他は「徒歩」と「電車」も利用する人の割合が高くなっています。
- 『貝塚駅の利用頻度』で、よく利用する人は「徒歩」や「電車」、「バス」の利用が多く、ほとんど利用しない人は「自家用車」が多くなっています。

問2-③ 自宅から貝塚駅までの主な移動手段は何ですか。

※合計には属性不明の方を含む。

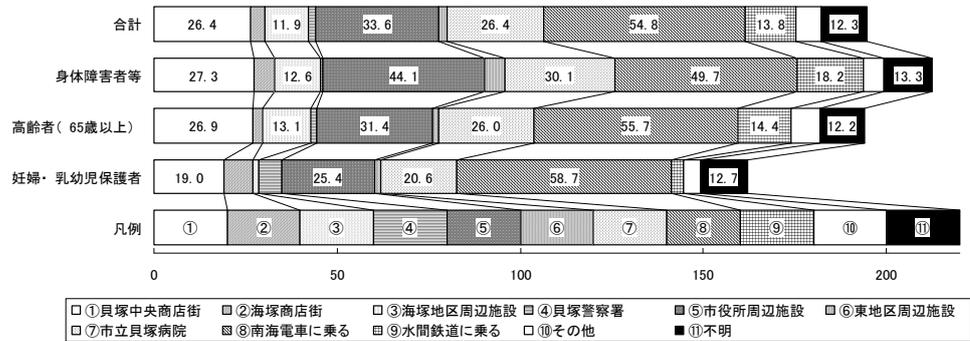


⑤ 目的地

● 全般的に電車に乗る以外では、「市役所周辺施設」「市立貝塚病院」「貝塚中央商店街」が多くなっています。

問2-④ 「問2 ③」の移動手段で貝塚駅に着いた後、あなたが行かれる主な公共施設はどこですか。

※合計には属性不明の方を含む。



⑥ バスの利用

1) 乗り降りの利用しやすさ

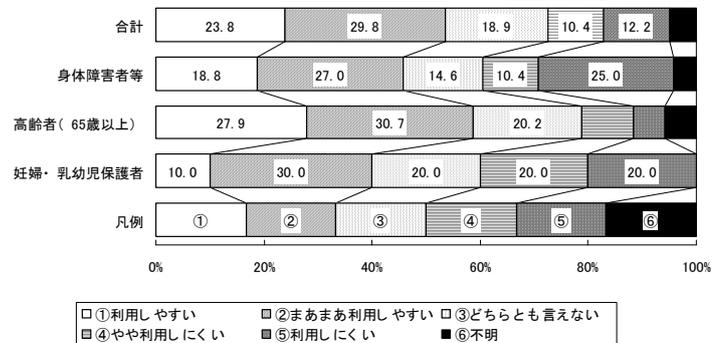
● 『乗り降りがしやすい』と評価される人が多くなっていますが、『身体障害者等』の約4割弱の人が『乗り降りがしにくい』と評価しています。

○ 『身体障害者等』は『乗り降りがしやすい』が45.8%、『乗り降りがしにくい』が35.4%となっています。

○ 『高齢者(65歳以上)』は過半数の人が『乗り降りがしやすい』と評価されています。

問2-⑤-1 南海貝塚駅東口及び西口のバス停で、バスの乗り降りしやすいですか。

※合計には属性不明の方を含む。



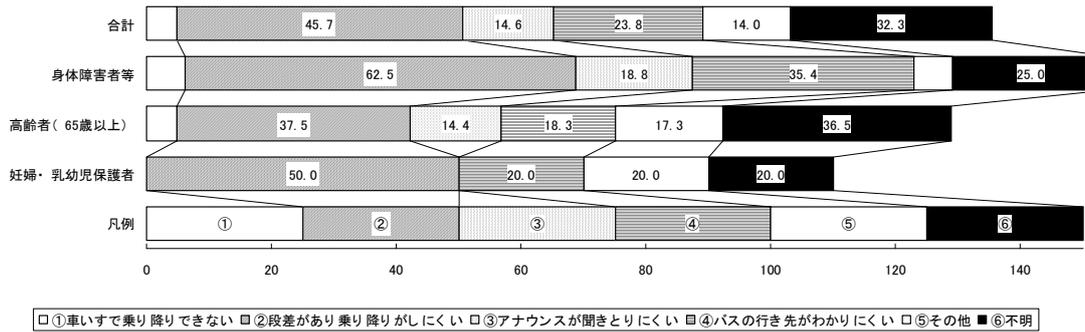
2) 乗り降りの際に困ること

●一般的に「段差があり乗り降りがしにくい」と「バスの行き先がわかりにくい」との回答が多くなっています。

○『乗り降りがしにくい』と評価している人の約9割弱が「段差があり乗り降りがしにくい」と回答されています。

問2-⑤-2 乗り降りの際に、どのようなことで困りますか。

※合計には属性不明の方を含む。



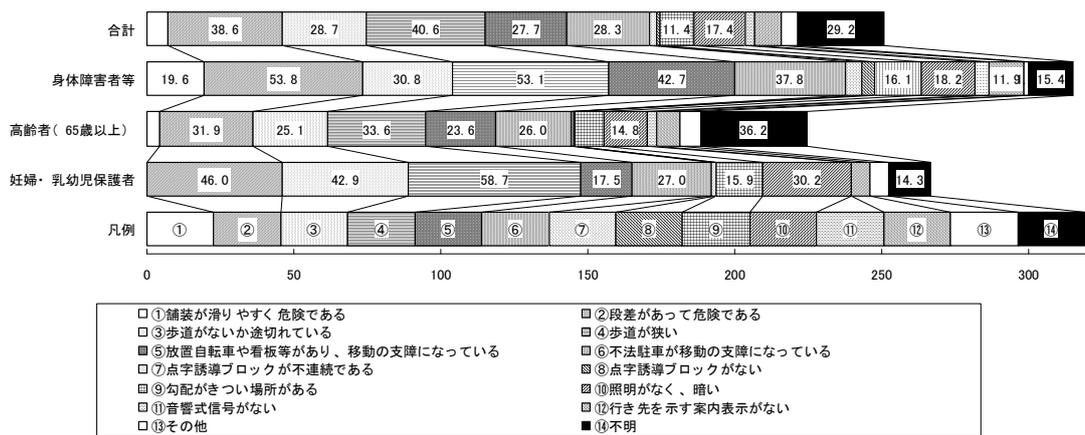
⑦ 道路を利用する際に困ること

●一般的に「歩道が狭い」「段差があって危険である」「歩道がないか途切れている」「不法駐車が移動の支障になっている」「放置自転車や看板等があり、移動の支障になっている」の回答が多くなっています

○特に『身体障害者等』の『肢体不自由（車いす利用）』の約9割弱の人は、「段差があって危険である」と回答されています。

問2-⑥ 徒歩または車いすで道路を利用する際に、どのようなことで困りますか。

※合計には属性不明の方を含む。



⑧ 駅舎・ホームの利用しやすさ

●『高齢者（65歳以上）』は『利用しやすい』と評価する人の方が多くなっているものの、『身体障害者等』と『妊婦・乳幼児保護者』は『利用しにくい』と評価する人の方が多くなっています。

○『身体障害者等』は『利用しにくい』と評価する人の方が多くなっています。特に『視覚障害』と『肢体不自由（車いす利用）』の『利用しにくい』の評価は過半数を超えています。

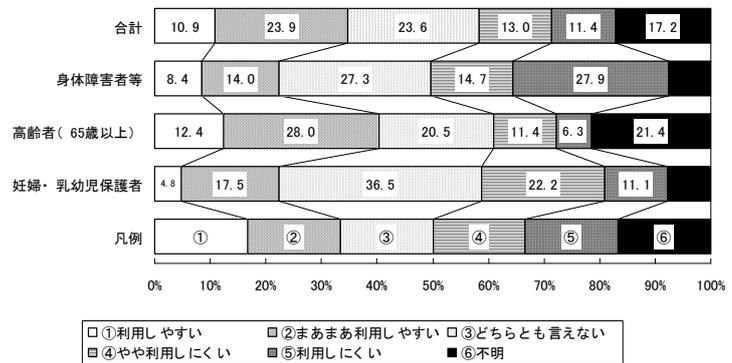
○『高齢者（65歳以上）』は『利用しやすい』と評価する人の方が多くなっています。

○『妊婦・乳幼児保護者』は『利用しにくい』と評価する人の方が若干多くなっています。

○貝塚駅をよく利用しているほど『利用しやすい』と評価する人の方が多くなっています。

問2-⑦ 駅舎やホームは利用しやすいですか。

※合計には属性不明の方を含む。



⑨ 駅舎内の移動の際に困ること

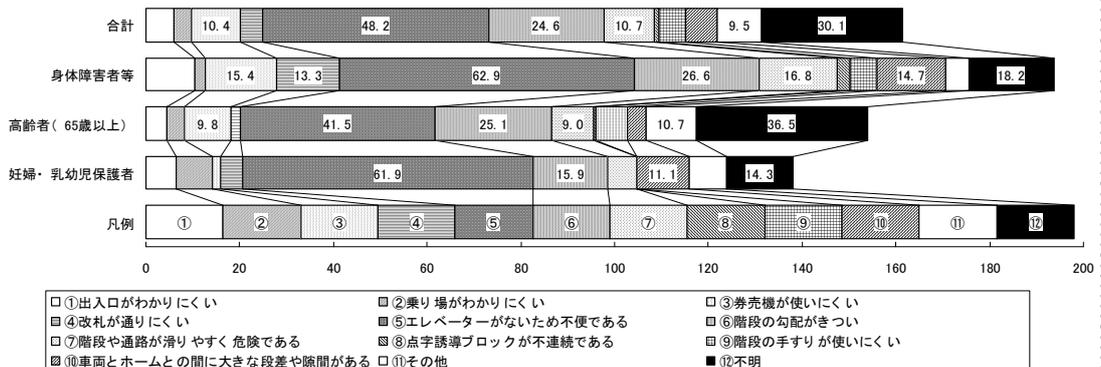
●全般的に「エレベーターがないため不便である」と「階段の勾配がきつい」の回答が多くなっています。

○『身体障害者等』の『視覚障害』では「券売機が使いにくい」が比較的に多くなっています。また、『肢体不自由（車いす利用）』の過半数の人が「車両とホームとの間に大きな段差や隙間がある」と回答されています。

○貝塚駅を『利用しにくい』と評価する人の約8割の人が「エレベーターがないため不便である」と回答されています。

問2-⑧ 一人で駅舎内を移動する際に、どのようなことで困りますか。

※合計には属性不明の方を含む。



## ⑩ 駅舎内を利用する際に困ること

●一般的に「ベンチが少ない」と「トイレなどの施設の位置がわかりにくい」の回答が多くなっています。

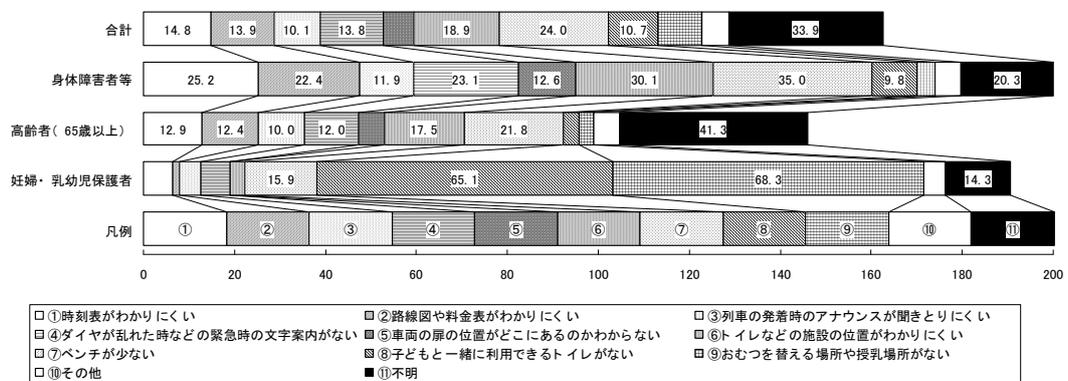
○『身体障害者等』の『視覚障害』では「路線図や料金表がわかりにくい」「車両の扉の位置がどこにあるのかわからない」「ダイヤが乱れた時などの緊急時の文字案内がない」との回答が多くなっています。また、『聴覚・平衡機能障害』と『音声・言語機能障害』の過半数の人が「ダイヤが乱れた時などの緊急時の文字案内がない」と回答されています。

○『高齢者（65歳以上）』は「ベンチが少ない」と「トイレなどの施設の位置がわかりにくい」との回答が多くなっています。

○『妊婦・乳幼児保護者』の過半数以上の人が「おむつを替える場所や授乳場所がない」と「子どもと一緒に利用できるトイレがない」と回答されています。

問2-9 駅舎内を利用する際に、どのようなことで困りますか。

※合計には属性不明の方を含む。



## ⑪ 駅舎内のトイレを利用する際に困ること

●一般的に「腰掛け式の便器がない」「狭い」「段差がある」の回答が多くなっています。

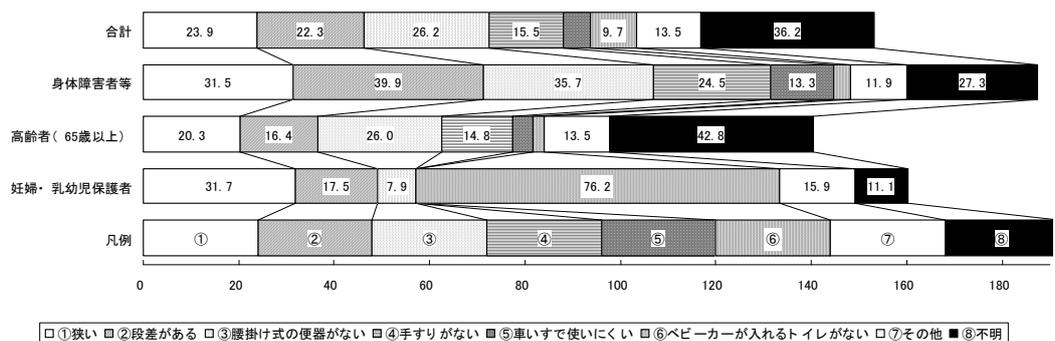
○『身体障害者等』では「段差がある」の回答が多く、特に『肢体不自由（車いす利用）』の過半数以上の人が「車いすで使いにくい」と答えられています。

○『高齢者（65歳以上）』では「腰掛け式の便器がない」の回答が多くなっています。

○『妊婦・乳幼児保護者』では「ベビーカーが入れるトイレがない」と「狭い」の回答が多くなっています。

問2-10 駅舎内のトイレ利用について、どのようなことで困りますか。

※合計には属性不明の方を含む。



---

## 4-2. タウンウォッチング調査

### (1) 調査概要

#### ① 調査目的

交通バリアフリー法に基づく基本構想策定のため、重点整備地区内の特定経路等を、身体障害者の方々が市民調査員となって、介助者とともに実際に歩いていただき、意見等を聴取し、現状の問題点を把握することを目的とします。

また同時に、市民調査員以外の参加者（協議会委員、市職員等）は、普段気づかない、また見た目では確認できない障害を体感し、認識することで、バリアフリー化に向けての課題を共有することを目的とします。

#### ② 調査実施日時

2003年（平成15年）8月22日（金）午前9時30分～11時

#### ③ 参加メンバー

○市民調査員：10名

車いす利用者：2名、視覚障害者：4名、聴覚障害者：2名、肢体不自由者：2名

○介助者：8名

車いす介助者：2名、視覚障害者ヘルパー：4名、手話通訳者：2名

○オブザーバー：9名（協議会委員）

○ヒアリング・写真スタッフ：23名（市職員、和歌山大学学生等）



#### ④ 調査方法

下記の2つの調査ルートに分かれ、市民調査員と介助者は、ヒアリングスタッフ等とともに重点整備地区内を歩きます。コースのなかで市民調査員は随時、課題箇所など気づいた点をヒアリングスタッフに告げ、ヒアリングスタッフは、その内容や地点をヒアリング調査用紙に記録し、現場状況を写真に記録します。

ルート1：市民福祉センター → 脇浜石才線 → 堀畠中線 → 海塚鳥羽線  
→ 小瀬神前線 → 駅東停車場線 → 南海貝塚駅東口

ルート2：市民福祉センター → 脇浜石才線 → 駅南線 → 南海貝塚駅西口



## (2) 調査結果

### ① ルート1

#### 1) 車いす利用者

- ・歩車道境界部の段差が大きいところがある。
- ・水路に転落防止用の柵がなく、危険である。
- ・側溝蓋の不良箇所（隙間等）が多い。
- ・歩道上に鉄板が多い。
- ・路上駐車（白線歩道内）が多く、危険である。
- ・支障となる電柱、標識が多い。



#### 2) 視覚障害者

- ・歩道切下げ部の段差が大きい箇所がある。
- ・歩道上に車両が乗入れており、通行の障害となっている。
- ・商店前の置き看板が障害物となっている。
- ・側溝蓋の設置が不連続であり、不良箇所も多い。
- ・水間鉄道踏切には点字ブロックが必要である。
- ・横断歩道に音響式信号機が必要である。



#### 3) 聴覚障害者

- ・歩道切下げ部の段差が大きい箇所がある。
- ・歩道上に車両が乗入れており、通行の障害となっている。
- ・側溝蓋の未設置や不良箇所が多い。
- ・電柱が多い。
- ・横断歩道に歩行者用信号機が必要である。
- ・水間鉄道踏切に電車の接近等を知らせる電光表示等が必要である。



#### 4) 肢体不自由者

- ・歩道切下げ部の段差が大きい箇所がある。
- ・横断歩道には信号機を設置してほしい。
- ・水路蓋の不備なところがある。
- ・道路舗装面に凹凸がある。



## ② ルート2

### 1) 車いす利用者

- ・ 車両出入口の切下げ段差が大きい。
- ・ 車両出入口部で点字誘導ブロックが不連続となる箇所が多い。
- ・ 商業施設前の看板・旗、商品、駐輪自転車等が障害物となる。
- ・ 歩道上に電柱が多く、電動車いすでの通過がぎりぎりである。
- ・ 横断歩道に歩行者用信号機が必要である。



### 2) 視覚障害者

- ・ 誘導ブロックが未設置の歩道には、設置が必要である。
- ・ 車両出入口部の切下げ段差が大きい。
- ・ 歩道上に車がよく止まっていて危険である。
- ・ 車両出入口部で点字誘導ブロックが不連続となる箇所が多い。
- ・ 南海本線の踏切手前に点字ブロックが必要である。
- ・ 商業施設前の看板、商品、駐輪自転車等が障害物となる。
- ・ 側溝蓋がない箇所が多く、危険である。
- ・ 横断歩道に音響式信号機が必要である。
- ・ 歩道上の放置ゴミや沿道敷地からの雑草が歩行の障害となる。
- ・ 歩道上の電柱が点字ブロックに近く危険である。
- ・ 下水のマンホールの蓋や鉄板の段差が危険である。



### 3) 聴覚障害者

- ・ 車両出入口部の切下げ段差が大きい。
- ・ 側溝蓋がない箇所が多く、危険である。
- ・ 商業施設前の商品、駐輪自転車等が障害物となる。
- ・ 横断歩道に歩行者用信号が必要である。



### 4) 肢体不自由者

- ・ 車両出入口部の切下げ段差が大きい。
- ・ 車両出入口部で点字誘導ブロックが不連続となる箇所が多い。
- ・ 南海本線の踏切手前に点字ブロックが必要である。
- ・ 商業施設前の駐輪自転車等が障害物となる。
- ・ マンホール蓋や鉄板の段差が危険である。



### ③ 南海貝塚駅構内

#### 1) 車いす利用者

- ・ エスカレーターの下りは後ろ向きになるため、恐怖感がある。
- ・ 切符売場の券売機は、蹴り込みが浅く、ボタンに手が届かない。
- ・ 駅舎内の案内表示は全般的に文字が小さい。
- ・ 階段横のホーム上通路の幅が狭く、こわい。
- ・ トイレ進入路周辺・入口等に手すりが全くない。
- ・ 便器まわりの手すりが高く、使いづらい。



#### 2) 視覚障害者

- ・ 西口の階段はきつくて、長い。西口にエレベーターがほしい。
- ・ エスカレーターに音声誘導がない。
- ・ エスカレーターへの誘導のための点字ブロックがない。
- ・ 階段の手すりが踊り場で切れている。連続であってほしい。
- ・ 駅舎内の点字ブロックはグレー系であるが、黄色い方がよいのではないか。
- ・ 券売機の点字位置はよいが、一部、点字表示がされていないボタンがある。
- ・ 駅のアナウンスは聞こえやすい。
- ・ ホーム上の移動の際、柱、吸い殻入れ等が危険である。
- ・ トイレ入口に段差は必要ない。



#### 3) 聴覚障害者

- ・ エレベーターがない。
- ・ 下りエスカレーターが必要である。
- ・ アナウンス内容が聞こえないため、改札口周辺、ホームとも、もっと視覚的表示が必要である。
- ・ トイレの入口が狭いので、肩がぶつかる。



#### 4) 肢体不自由者

- ・ 西口階段の勾配がきつい。
- ・ エレベーターまたは下りエスカレーターが必要である。
- ・ エスカレーター乗り口に点字ブロックが必要である。
- ・ 駅舎内の点字ブロックは床との色の差がわかりにくい。
- ・ ホームの時刻表は位置が高く見にくい。
- ・ トイレ入口に段差があるが、手すりが設置されていない。

